

提 案 の 概 要

施設名：名楽福祉会館

団体名：社会福祉法人名古屋市中村区社会福祉協議会

1 福祉会館業務

(1) 管理運営全般について

①施設管理運営の基本方針等

次期指定管理期間で目指す姿（理念）

地域における高齢者の健康でいきいきとした自分らしい生活を支援する身近な福祉会館を目指します。

目指す姿（理念）を達成するための基本方針

- 1 心のふれあいを感じ親しみの持てる居場所の提供
- 2 「健康」「趣味」「情報発信」に重点を置いた魅力的なサービスの提供
- 3 高齢者の社会参加の促進
- 4 高齢者の閉じこもりや孤立の防止

②管理運営体制（職員配置及び人材の確保・育成計画等）

職員配置の基本的な考え方

高齢者福祉等の専門的知識と経験はもとより、地域住民や関係機関等と連携をしながら、高齢者の健康でいきいきとした自分らしい生活を支援していくためのスキルを有する職員を配置します。

人材確保・育成計画の基本的な考え方

スケールメリットを活かした多様な人材の確保により、専門性を活かした質の高い事業運営を行います。

スケールメリットを活かした研修や外部研修の積極参加を通じ、専門性の高い人材を育成します。

(2) 事業運営の実施計画について

①生活相談及び健康相談

生活相談

- 1 利用者の日常の困りごとや悩みに耳を傾け、心のふれあいを通してさりげなく見守ります。
- 2 寄せられる相談に対して真摯に対応し、必要に応じて関係機関と協力しながら支援します。

健康相談

- 1 名古屋市中村区医師会の協力を得て、定期的に実施します。
- 2 相談医には、主治医とは別の視点で健康に関する助言をしていただき、生活上の何気ない話も丁寧に聞いてもらえるよう依頼します。

②教養の向上及びレクリエーション等に関する事業

基本的なねらい

- 1 定例講座・単発講座については、健康や趣味に重点を置いた魅力ある講座を企画し、利用者が生きがいを見つけ、健康でいきいきとした自分らしい生活を送ることができるよう支援します。

- 2 健康づくり・フレイル予防につながる体操やヨガ、講話、相談などを実施します。脳トレーニングなど認知症の予防に焦点を当てた効果的な取り組みも行います。

主な事業

- 1 趣味・教養の幅を広げるための趣味講座を実施し、当館で学んだ知識や趣味を生かせるボランティア活動や地域活動への参加を促します。
- 2 健康づくりや手工芸などの講座を単発講座として実施し、高齢者の興味や関心を引き出しながら、利用の機会が減った方に利用を促すとともに、新たな利用者の開拓をすすめます。
- 3 運動や脳トレーニングに様々なバリエーションを持たせることで、健康づくりやフレイル予防に楽しく、また継続的に取り組める機会を提供します。
 - ・認知症予防リーダーの養成と地域活動支援を行いながら普及啓発に取り組む「認知症予防事業」
 - ・脳トレや体操、回想法などを使って介護予防に取り組む3種類の「サロン」
 - ・若年層向けの健康づくり事業の一つ「eスポーツ」体験
 - ・81歳以上の方向けの認知症予防教室「GOLD100」
 - ・地域包括ケアの一環として介護予防に資する取り組みを積極的に取り入れた「名楽祭」の開催
- 4 居心地よく親しみのある居場所を提供するため、館内の環境整備、卓球室及び囲碁・将棋室の自由利用、季節を感じる飾りつけ、同好会への部屋貸しといった取り組みを行います。
- 5 児童館や区内の大学・専門学校と連携し、世代間交流を図ります。
- 6 地域福祉推進協議会などの地域団体や区内の公共的施設と連携した「出張福祉会館」の実施や、認知症予防リーダーの派遣により、広く区民に福祉会館事業への参加の機会を提供します。

③機能回復訓練の実施

基本的なねらい

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で閉じこもりがちとなり、心身機能が低下した高齢者が多いと思われることを踏まえ、健康体操やストレッチを中心としたプログラムを実施します。

主な事業

- 1 少しでも多くの方が介護予防の体験ができるよう、半年間の健康体操講座を実施します。この講座では身体レベルに合わせ、きつめの「健康体操」、ややきつめの「やさしい体操」、ゆったりめの「ゆったり体操」と3つのクラスに分けて半年間コースで実施します。
- 2 人気の「ヨガ」は、初心者でも取り組みやすいエクササイズを半年間コースで実施します。
- 3 単発講座でも、通常の健康体操とは趣向の異なる運動系の講座を実施します。

④入浴事業

- 1 月曜日から土曜日までの午後1時30分から午後2時30分までに1時間に、男女それぞれの浴室で実施します。
- 2 浴場は、浴場責任者である館長のもと法令を遵守し、毎日丁寧な清掃など衛生管理に努めます。また、安全にご利用いただけるよう水質検査、湯温確認も欠かさず行います。

⑤電話相談事業

- 1 ひとり暮らし高齢者の安否確認と孤立防止を目的に、ボランティアグループ等の協力により、週2回の電話相談を行います。
- 2 不在の続く利用者には区役所と連携し、安否確認と速やかな対応を徹底します。
- 3 よりよい電話相談が行われるようボランティアとの懇談会を開催し、ご意見は区役所とも共有します。

(3) 収支計画について

①管理運営にかかる費用等

- 1 人件費は、館長、事務職員、健康支援スタッフ及び生きがい支援スタッフの合計4名のもので、臨時職員分は、物件費に計上しています。
- 2 報償費は、健康相談医師、定期講座・単発講座講師及び電話ボランティアなどへの謝金です。
- 3 委託料は、シルバー人材センターへの業務委託費や複合庁舎管理委託費などです。
- 4 小規模修繕費は過去の修繕実績を踏まえて計上しました。竣工以来25年を迎える施設として、修繕箇所は年々増えています。施設・設備の故障箇所は、利用者に迷惑がないよう、速やかに修繕します。

※この提案の概要は候補者になった場合、市公式ウェブサイト等で公表されます。